

MAGiC HOUR

2025

7

「好奇心」つながれ!!



巻頭特集

可能性とつながる

Cover
森本 快 / 吉田 善

連載

世界とつながる
未来とつながる

03 Cover Interview

サッカー部、全国の舞台へ再び

森本 快 + 吉田 善

04 巻頭特集 可能性とつながる

サッカー、野球、陸上、吹奏楽、ダンス、製菓etc.……

“好き”を極めたその先に、新しい自分が待っている



06 連載 世界とつながる

\ほぼ／

飯塚高校が留学希望100%を叶える理由

協定校5ヶ国、9校との連携を支える人たちに迫る



07 連載 未来とつながる

「STEAM教育を軸に高校生の探究力を育む授業を」

九州工業大学 情報工学部 青木俊介 教授に聞く

09 Key Player Interviews

大学生活を楽しむ卒業生3人が登場

大島奏穂(九州大学 2年生)

大園治慈(明治大学 2年生)

山本雅子(立命館大学 4回生)

10 Events Calendar

部活・コース体験ができるオープンキャンパスを楽しんで！

飯塚高校の7～9月のイベントカレンダー

11 Information

12 Next Issue



Cover Interview

表紙のふたり

もっと詳しい
インタビュー
を読む



※記事内容は取材当時
(2025年6月)のものです。

7月号の表紙はサッカー部キャプテンと副キャプテンが登場!

2025年6月、サッカー部は4大会ぶり2度目となるインターハイ出場を
決め、再び全国の舞台へと胸を進めました。

さらなる飛躍が期待される今、ふたりの想いに迫ります。

置かれた環境で全力を尽くし、
仲間たちとともに全国へ

“120%出し切る毎日”で悲願達成。
さらなる高みを目指す日々へ



サッカー部キャプテン

吉田 善さん 特進グローバルコース3年生

僕が飯塚高校サッカー部を選んだのは、中学時代に練習に参加させてもらったとき、ここなら一番成長できると感じたからです。入部してすぐのころは、高強度なトレーニングについていくのに必死でした。でも、その厳しさを乗り越えるなかで、苦しいことも前向きに捉えられるようになったのは大きな成長です。

1年生の冬には、カテコリがふたつあるという挫折も経験しました。でもやるしかないこと前向きに切り替え、3ヶ月でひとつ戻すことができました。キャプテンになった今は、仲間の力を引き出せるよう、積極的な声かけや私生活での姿勢も大事にしています。

チームとしての目標は全国ベスト4以上と全リーグ昇格。そのためには、今ある環境でできることに全力を尽くし、仲間とともに一歩ずつ前に進んでいきたいと思っています。

サッカー部副キャプテン

森本 快さん 特進探究実践コース3年生

飯塚高校サッカー部の一番の魅力は、質の高い練習ができる環境だと思います。普段は学年に関係なくフランクに接し合える雰囲気ですが、ひとたび練習が始まれば、お互いに本気でぶつかり合い、妥協のない時間を過ごしています。技術面では、右足しか使えなかった自分が、左足も自在に使えるようになり、プレーの幅が広がりました。また、体重を増やして身体を重くしても動けるのは、重いものを速く動かすことを重視していた、独自のウェイトトレーニングのおかげです。日々取り組んでいることすべてが、確実に自分の力になっていると実感しています。

今日まで一番印象に残っているのは、2025年6月のインターハイ福岡予選決勝で東福岡に勝利した試合です。前年の悔しい敗戦を乗り越えてついに勝ちたので、心の底から達成感を味わうことができました。これから仲間たちとともにさらなる高みを目指していきます。

可能性とつながる



〈サッカー部 副キャプテン〉
新垣 類さん
健康スポーツコース 3年生

あ
の
と
き
諦
め
な
か
っ
た
か
ら
、
見
え
た
景
色
が
あ
る

入部から2年3ヶ月経ち、大きく成長できたと思います。最初は毎日の練習についていくのがやっとで、トップチームに帯同するものの試合には出られず、心が折れそうになったことも。でも、気持ちを切り替えて、自主練習を重ねたり、先輩たちの姿から学んだりしながら、自分の武器であるスピードをどう生かすかを徹底的に考えてきました。その結果、2年生の春からスタメンとして出場できるように。身体も大きくなり、フィジカル・メンタル面ともに強くなれたと思います。諦めが早かった自分が、今では最後まで粘れる選手になれたのは、この環境のおかげです。

2025年のインターハイ福岡予選で優勝し、ピッチの上で味わったあの感動は一生忘れません。現状に満足することなく、チーム全員で全国ベスト4という目標に向かって進んでいます。



〈サッカー部〉
塚本 一咲さん
健康スポーツコース 3年生

プロになるために
飯塚高校に来た—
初心を胸に走り続ける

飯塚高校サッカー部に入ったときは、決して順調なスタートではありませんでした。1年生のときは一番下のカテゴリにいて、最初はCBとしてプレーしていました。FWへの転向を希望して努力を続けた結果、Aチームに昇格し、トップチームにも帯同できるようになりました。2年生ではケガで試合に出られない時期もありましたが、リーグ戦終盤からプリンスリーグに出場し、スターティングメンバーに定着。全国から優秀な選手が集まるなかで試合に出続けるのは簡単ではありませんが、「プロになる」という初心を忘れず、日々のトレーニングや身体のケアに励んでいます。

飯塚高校は環境が整い、指導者の熱意も高く、自分を成長させてくれる場所です。インターハイではベスト4以上を目指し、全国の舞台で結果を残したいと思っています。



〈野球部 主将〉
伊藤 大勢さん
健康スポーツコース 3年生

甲子園を本気で目指せる
環境がここにある

中学時代、飯塚高校で活躍する先輩の姿に憧れ、本気で甲子園を目指したいと入学を決めました。地元・田川市から通うこともできましたが、自分を成長させたいと寮生活を選びました。現在は75名の部員をまとめる主将として、誰ひとり取り残さないチームづくりを心掛けています。練習中は真剣に、普段は仲良く、互いを尊重し合える雰囲気がこの部の魅力です。

技術面では守備力や打球を飛ばす力が向上し、体重も増やして身体づくりにも励んできました。雨天時でも使える室内練習場や、ピッチャーと野手が別メニューで鍛えられる指導体制も整っています。最後の夏、仲間たちとともに本気で甲子園を目指し、日々練習に取り組んでいます。



〈駅伝部 副主将〉
松尾 翼さん
健康スポーツコース 3年生

駅伝を通して、
諦めない自分に出会えた

中学生のとき、高校生と一緒に走る機会があって、飯塚高校の選手が上位で走っているのを見て「ここなら自分も強くなれるかも」と思い、進学を決めました。入部後は練習の強度が高くて驚きましたが、ハードなトレーニングを重ねるなかで鍛えられて、諦めない心が自然と身についていきました。顧問の先生からレース中にかけられた「今までの練習を思い出せ！」という言葉は、僕にとって大きな力になっています。2年の北部九州大会でインターハイ出場を決めたときも、その言葉が支えになりました。

駅伝の魅力はチームで戦うこと。襷を渡す瞬間、「任せた」という気持ち伝わりやす。卒業後も大学で駅伝を続けたいと思っています。



〈吹奏楽部 部長〉
平岡 衣乃さん
特進探究実践コース 3年生

今年こそ全国の舞台へ
私たちがからつくれる音楽で、

入部してからは、技術面でも精神面でも成長できたと感じています。先生や講師陣による手厚い指導のほか、独自の練習メソッドがあり、日々の練習に真摯に取り組めば確実に上達できる仕組みが整っています。毎年3月の定期演奏会では演奏だけでなく、歌やダンスも取り入れた演出にも挑戦し、そのクオリティを高めることも大事にしています。部員全員が主役として舞台に立てる環境も、私たちの部の大きな魅力だと思います。

地域での演奏や2025年からスタートした地域の吹奏楽クラブ「イヅカプラスアカデミー」での子どもたちへの指導、韓国への演奏旅行など、ローカル・グローバルで多様な活動ができるのも飯塚高校ならではの。昨年は九州大会で金賞をいただきましたが、今年は「全国大会出場」というさらなる目標に向けて、仲間と一緒に全力でがんばっています。



〈製菓部 arc-en-cielリーダ〉
野上 こころさん
製菓コース 3年生

私たちがらしいケーキで勝ちたい
想いを形にした
スイーツ甲子園優勝

中学生のとき、先輩たちがスイーツ甲子園で活躍している姿を見て、「私もいつか全国の舞台に立ちたい」と思い、飯塚高校製菓コースへの進学を決めました。お菓子づくりは幼いころから母と一緒にしていて、自然と夢中になっていったんです。入学後は製菓部に入り、スイーツ甲子園に挑戦するチーム「arc-en-ciel」の一員として活動しています。リーダーとしてメンバーと支え合いながら「3人でワンチーム」を意識して、それぞれの得意分野を生かしながら取り組みました。優勝できたのは、完璧に準備してきたからだと思います。何度も試作して、「ケーキが固まらなかったらどうするか」などのリスクをすべて洗い出して、本番に挑みました。

全国大会では豪華校の姿勢や礼儀からも多くを学びました。タヒチ研修にも参加できて、本当に貴重な経験になりました。今年もスイーツ甲子園に挑戦します。自分たちが心からいいと思えるケーキをつくり、二度目の全国優勝を成し遂げたいです。



〈ダンス部 部長〉
中村 結希乃さん
特進探究実践コース 3年生

全国の舞台でも、地域でも。
誰かの力になれるダンスを
これからも届けたい

飯塚高校ダンス部は少人数ながら、全国大会で入賞を果たす実力のあるチームです。私は競技としてのチアダンスに本格的に取り組みたいという思いから、岡山県から進学してきました。現在は7名で活動し、振付や楽曲の選定も自分たちで行うなど、主体的な姿勢を大切にしています。初心者部員も在籍していますが、努力を重ねて技術を高め、今では大会でも活躍するまでに成長しています。

特に印象に残っているのは、全国大会で音源トラブルが発生した際、先輩が冷静に判断し、全員で演技をやり遂げて入賞できた経験です。部員全員で支え合う温かな文化があります。サッカー部の試合応援や地域イベントへの出演など、地域とつながる機会も多くあり、ダンスを通じて誰かの力になれることに、大きなやりがいを感じています。

全国大会に出場する実力を持つ部活動が数多くある飯塚高校。全国の舞台で結果を残してきた部活動の中心にいる生徒たちに、飯塚高校を選んだ理由や部活動での経験や成長、今後の目標などについて語ってもらいました。

部活動・生徒会 /



※記事内容は取材当時
(2025年6月)のものです。

もっと詳しい
インタビュー
を読む



※記事内容は取材当時
(2025年6月)のものです。

飯塚高校では、生徒一人ひとりの希望に応じた留学を実現するため、交換留学プログラム(以下、留学プログラム)において充実した支援体制を整えています。

協定校の拡充や、金銭的負担を抑えた制度設計にも取り組み、国内外での実践的な学びをより身近なものとする工夫を重ねてきました。

留学支援に携わる教員へのインタビューを通じて、飯塚高校ならではの留学の魅力をご紹介します。

もっと詳しい
インタビュー
を読む



※記事内容は取材当時
(2025年5月)のものであります。



英語好きな全生徒に
扉は開かれている。
“留学したい”を
全力でサポートします

本 晋さん

飯塚高校 英語科教員

飯塚高校の交換留学プログラムでは、出発前の準備から現地での受け入れ、滞在中のサポートまで、手厚く対応するチームを英語科の教員たちで構成しています。空港からホームステイ先・学校まで安全に移動できる体制を整え、現地の学校やホストファミリーとも密に連携しています。留学を経験した生徒は、内面から大きく成長します。おとなしい生徒がタイでの交流をきっかけに自信を深め、帰国後も韓国に留学するなど、積極的に英語を使うようになりました。

本校では、少ない金銭的負担で交換留学ができる仕組みを整えています。2024年度の実績でいうと、韓国は5万円ほど、タイは13万円ほど、ニュージーランドは27万円ほどと、ほぼ渡航費用のみで参加可能です。特選コースに限らず、すべての生徒にチャンスがあるのが飯塚高校の留学。英語が好き、海外に興味がある——その想いを一歩踏み出す力に変えてください。



留学生と日本人生徒が
互いに高め合う
学びの場

大浦 さとみさん

飯塚高校 留学生担当・日本語教員

飯塚高校では、協定校から毎年数名の長期留学生を受け入れています。現地で日本語や日本文化を学んでから本校に入学、特選コースに所属し、日本の大学進学を目指して努力しています。フィリピンやネパール、中国などから国際入試を経て入学する生徒たちもあり、一部の科目に関して、個別授業を通じた日本語サポートも行っています。

異なる文化背景を持つ仲間がいることで、日本人生徒たちも自然と視野を広げ、語学力や異文化理解を深めています。体育や音楽などコースを越えた授業でも交流が生まれ、互いに刺激し合いながら成長している様子をうれしく感じています。



飯塚高校を真の
グローバル高校へ
一人ひとりの成長と
地域社会への貢献を重視

スティーブン・ダニエル・
クロフォードさん

飯塚高校 英語科教員

飯塚高校のグローバル教師チームの一員で、現在唯一のネイティブスピーカーとして勤務しています。グローバル教育プログラムインテンシブのリーダーも務め、生徒一人ひとりの成長と国際的な視野の育成に力を注いでいます。

私のルーツは非常に多文化的です。日本生まれの黒人アメリカ人の父と日本人の祖母を持ち、母はメキシコ出身で後にアメリカに帰化しました。英語・スペイン語・日本文化に囲まれた環境で育ち、多様性の中で生きる力を学びました。アメリカでは軍務やシェフ、教師の経験を経て、現在は日本で10年間英語を教えています。

飯塚高校を真にグローバルな学校にすること、そして生徒たちを地域社会に貢献できる人材にすることが私の使命です。



小さな好奇心を
確信に変えて、
世界へ羽ばたく

“Turn a spark of curiosity into
confidence, and soar into the world.”

窪田 太郎さん

嶋田学園 国際コーディネーター

『小さな好奇心を確信に変えて、世界へ羽ばたく』“Turn a spark of curiosity into confidence, and soar into the world.”を目指し、本校では早期の進路指導や個別面談を通じて、生徒一人ひとりに最適なプログラムを提案しています。とくに、学費や滞在費が相互免除される交換留学制度を整備し、金銭的負担を抑えながら挑戦できる環境を用意。英語の成績が一定基準に達していれば、誰でも参加が可能です。ニュージーランドやカナダ、韓国、タイ、中国など5ヶ国9校もの多様な協定校と継続的な信頼関係を築き、交流の輪を広げています。また、留学前・滞在中・帰国後の3段階で支援を行い、語学や文化理解に加え、現地でのフォロー体制も万全です。経験をレポートや日誌にまとめて振り返る機会も設け、学びの定着と自信へとつながっています。生徒の挑戦と成長を支えるため、これからも丁寧に寄り添い続けます。

飯塚高校 特進コースでは、九州工業大学(以下、九工大)情報工学部との連携による特別授業を実施しています。本連携授業では、高校「情報I」の範囲を基礎に、データ分析やシミュレーションといった高度な手法も取り入れた探究学習に取り組んでいます。

具体的に何を学び、何を目標しているのか、本授業のプロデューサーに話を聞きました。

STEAM教育を軸に、 高校生の探究力を育むサポートを

飯塚高校と私たち九工大 情報工学部との連携授業は、飯塚高校のDXハイスクール対象授業のひとつです。私が室長を務めるSTEAM教育推進室が中心となり、特進クラス1年生を対象にデータサイエンスの基礎である統計学を学んでもらう授業を2024年秋にスタートしました。

授業は4班編成で、教員と情報免許取得済、あるいは取得過程にある大学生がTAとして加わり、生徒4名に対して指導者3名という手厚い体制で行いました。アンケートではスキル向上やリラックスした学びの環境が確認され、今後の探究活動を通じてさらに成果が見えてくると期待しています。

2025年度は、昨年度の1年生(現2年生)には探究学習のサポートを、新たな1年生には引き続きデータサイエンスの基礎教育を実施します。成果はサイエンスモールや九工大の課題研究発表会で発表する予定です。

私たちはこの取り組みを、福岡県の情報教育の課題解決と、高校生の探究力育成につなげたいと考えています。飯塚高校は物理的な距離も近く、柔軟な対応が可能な私学として、STEAM教育を軸に連携をスタートした最初の高校です。今後も飯塚高校とともに、探究心を育む教育活動を進めてまいります。



青木 俊介さん

・九州工業大学 情報工学部
生命化学情報工学研究系 教授
・STEAM教育推進室 室長

もっと詳しい
インタビュー
を読む



※記事内容は取材当時
(2025年5月)のものです。

大学連携で育む、次世代の思考力

高校での学びの大きな目標のひとつは、高校の先にある大学や職場などのフィールドで活躍できる力を身につけることです。飯塚高校では多様な大学と連携することにより、少し先の未来をイメージしながら、グローバルに通用するアカデミックな思考力、ローカルで発揮される協働する力、そして自分ならではの好奇心を育てることができます。また、AIやデータサイエンスをはじめ、大学だからこそ提供できるハイレベルな現代の知に触れることで、絶対に避けては通れない時代の潮流に早くから親しみ、自分なりの生かし方、向き合い方を見つけることができます。地域を未来に向けて牽引する飯塚高校生に、ご注目ください。



嶋田 吉朗

学校法人嶋田学園 飯塚高校
常務理事・校長補佐、関西大学客員教授

Key Player Interviews



もっと詳しい
インタビュー
を読む



※記事内容は取材当時
(2025年5月)のものです。

飯塚高校では、生徒一人ひとりが自分の未来を切り拓く力を育んでいます。
希望の進路を実現した現役大学生の先輩たちに、現在と未来のこと、
そして飯塚高校で過ごした過去のエピソードについてお話を伺いました。



九州大学
共創学部 2年生

大島 奏穂 さん 〈特進I類 2024年3月卒業〉

行動すればするほど
世界が広がっていくのを実感しています

大学に入ってから『やりたいことを全部やる』日々を過ごしています。まず、在籍する共創学部では、答えのない社会課題に挑むために、複数の専門分野を横断的に学び、協働しながら共創的課題解決力を磨いています。学問以外の活動にも活発に取り組んでいます。まず、九大フィルハーモニー・オーケストラではトロンボーンを続けながら教養部長として活動。そのほか、地域を好きになってもらう『ミチマチプロジェクト』や社会課題をテーマにしたミュージカル劇団『Italent』にも参加しています。趣味だったフリースタイルフットボールも、大学ではサークルに入っており本格的に取り組むようになりました。アルバイトでは、総合型選抜専門塾の講師のほか、同じ学部の先輩のつながりで伊都地区の中心となるコワーキング兼モビリティハブや、AI系スタートアップ企業でも働いています。行動すればするほど世界が広がっていくのを実感しています。飯塚高校の吹奏楽部で、朝から晩まで練習に打ち込んだ日々が、今の私の行動力のベースになっています。やりたいことに全力で向き合う楽しさや、仲間と一緒に何かをつくりあげる喜びは3年間で培った大切な感覚です。あのときの経験や素晴らしい指導者、仲間たちとの出会いに心から感謝しています。

大園 治慈 さん 〈健康スポーツコース 2024年3月卒業〉

監督から教わった言葉は今も心の支えです

朝5時に起きて朝練の準備をし、授業や寮での生活、サッカー(明治大学体育会サッカー部)の練習と忙しい毎日を送っています。高校時代に鍛えた“走る力”が今でも自分の武器で、強みをどう生かすかを常に考えながら、フィジカルとメンタル両面の準備を大切にしています。新人戦などいくつかの試合には出られたものの、トップチームの公式戦にはまだ絡めていません。思うように結果が出ない悔しさもありますが、そのなかで自分の課題と向き合うことで、少しずつ成長できていると感じます。飯塚高校では厳しい練習と地域の温かな応援、一生の仲間たちに出会えました。監督から教わったことはたくさんありますが、特に『感謝を忘れない』『最後までやり抜く』『素直な心でいる』という言葉は今も心の支えです。毎日の積み重ねが、未来の自分につながっていると考えて、1日1日を悔いのないよう過ごしています。



明治大学
法学部 法律学科 2年生



立命館大学
法学部 法学科 4年生

山本 雅子 さん 〈特進I類 2022年3月卒業〉

生徒のやりたいことに対して
背中を押してくれる環境があります

2年生からは中国語を副専攻として学び、3年生の秋からはブリティッシュコロンビア大学に1年間留学しました。現地では先住民の文化や歴史を学びつつ、ボクシング部にも参加。英語だけでなく、人との出会いや文化を通して視野が大きく広がった時期でした。その過程で、日本の文化や歴史をより深く理解したいと思うようになり、大学院に進学し社会学を学ぶことも視野に入れています。学内外で出会った大学院生たちの話や、留学中に感じた『自分の言葉で日本について語れるになりたい』という想いが、進路の選択肢を広げるきっかけになりました。福岡市出身の私は、福岡県内で最も国際教育に力を入れていると感じた飯塚高校を選びました。特進コースの少人数制や先生方の温かいサポートのおかげで、コロナ禍でも前向きに学び続けることができました。生徒のやりたいことに対し『いいね！ やってみよう』と背中を押してくれる環境があったからこそ、今の私があります。飯塚高校を選んで本当に良かったと心から思っています。

飯塚高校2025年 イベントカレンダー

Events
Calendar

	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
7 July 2025	29	30	1	2	3	4	5
		オープンキャンパス(部活動体験)					
	6	7	8	9	10	11	12
							オープンキャンパス (自動車専攻科)
	13	14	15	16	17	18	19
	山笠						夏期休業 (~8月20日まで)
	20	21		23	24	25	26
	山笠(雄い山)						
	27				31	1	2
	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
8 August 2025	27				31	1	2
							オープンキャンパス (部活動体験)
	3				7	8	9
	10				14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
				オープンキャンパス (コース体験)			
	24	25	26	27	28	29	30
	31	1	2	3	4	5	6
	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
9 September 2025	31	1	2	3	4	5	6
							オープンキャンパス (部活動体験)
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
							オープンキャンパス (コース体験)
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	1	2	3	4
		生徒会役員改選	前期終業式				オープンキャンパス (入試対策講座説明会)

7~9月実施の2025年度オープンキャンパスでは、部活動体験やコース体験を通じて「飯塚高校の今」を体感できます。入学後の自分をイメージする機会にしてください！

2025年度
オープンキャンパスの
お申し込みはこちらから！



Webでくわしくチェック!

Information

飯塚高校には9つのコースと1つの専攻科があります。

それぞれのコースは、生徒一人ひとりが自分の目標に向かい、興味や得意分野を深められる学びの場です。好きなことや強みを磨き、掛け合わせて、自分らしく社会で活躍できる力を育てます。

／ コース ／



飯塚高校ではWebサイトを通じてさまざまなニュースを発信しています。授業や実習の取り組み、各コースの独創的な学び、地域とのつながりを深める活動、グローバルな挑戦、個々の生徒にフォーカスしたインタビューまで、学校の日常を幅広くお伝えしています。

さらに、生徒主体で制作する月刊ニュースペーパー『飯塚タイムズ』も発行中！生徒たちの視点で描かれる学校の今をご覧ください。



／ NEWS ／

／ TIMES ／

最新のニュースや『飯塚タイムズ』は、
右のQRコードから読めます！



巻頭特集 問いとつながる

飯塚高校では、教育目標であるGLI(Global・Local・Individual)に基づき、生徒一人ひとりの自主性と主体性を育むためのさまざまな取り組みを行っています。

2025年前期からは、「メイクアップデイ」や「フリーファッションウィーク」など、自分らしさを見つめ、メイクや髪型、装いで表現することを目的とした特別なイベントを実施してきました。

他者と違うことを恐れず、自分を大切にすること。地域や世界とのつながりの中で、個性をどう表現していくか——。そんな問いを胸に、自ら考えて行動・表現した生徒たちの姿や、プロジェクトの中心メンバーとなった生徒や教職員たちによる座談会で振り返ります。



＼ GLI教育 ／



連載 世界とつながる

飯塚高校なら1年生で交換留学が叶う！



連載 未来とつながる

海外有名大学への進学も叶う!?
高大連携する福大を起点に
世界への可能性が広がる



元MIT客員研究者
や起業家を招き、
海外大学進学に
関する特別講演
を実施

Staff

編集長
嶋田 吉朗(常務理事/校長補佐)

ブランディングチームリーダー
中辻 喜敬(教員/サッカー部監督)

編集・ディレクター
池田 園子

Web担当
矢野 麻子

デザイナー
江口 学(White Product)

撮影
帆足 慶一郎



IIZUKA HIGH SCHOOL